

発達に特性のある子 のガイドブック

児童発達支援・放課後等デイサービス事業所情報



お花がすきなお母さん



私はヘルプマークを知ってるよ



ヘルプマークをご存じですか？

外部からみえないところで（義足、難病患者、妊娠初期の女性）援助が必要な方達がたくさんいます。

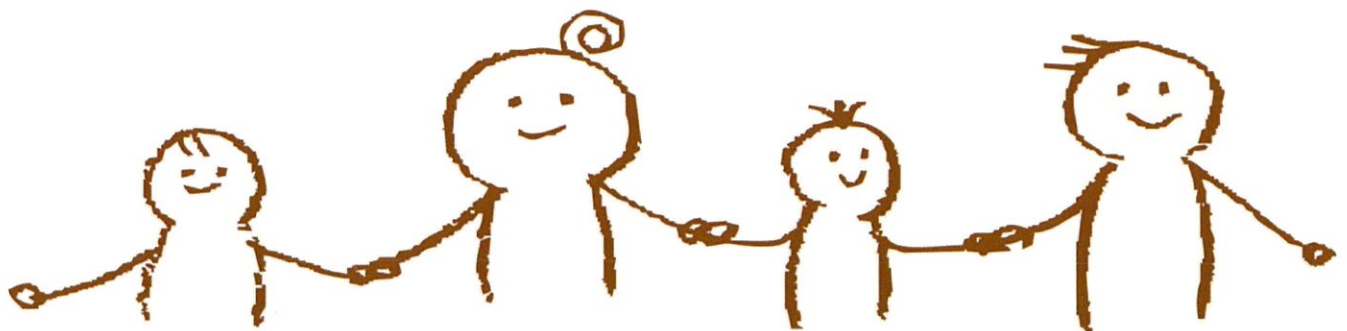
それを周りに知らせてくれるのが、ヘルプマーク。

周りの人たちからの援助がなければ、命に関わる

危険な場合があります。あなたのひと声が誰かの助けになります。周知し、配慮してもらえるだけで当事者とその家族を救うことができます。

ヘルプマークが必要な方はお住まいの役所で申請してその場で貰う事ができます。

お問い合わせください。記・山内 紫穂里



はじめに

発達に特性のある子の親の会ママサポ結
会長 神里 さよ子

2007年4月に、豊見城市に引越してから、16年になりました。この4月に夫の定年とともに、実家へ戻ることになりました。

ここに、来たのは、息子が発達障害と診断されたとき、手にした関連書籍から、上田小の取り組みをしり、実際に見に来ました。そのときの支援学級の先生の対応のすばらしさに、「もし、沖縄に転勤だったら、上田小に行く」と決めました。そして、その年の4月に夫の転勤は、沖縄になり、こちらへ、引越してきました。

私のほとんどの子育ては、この地の思い出がいっぱいです。出会ったたくさんのママ達と、出会ったたくさんの助けと親切。ここを去る前に何かできないかと、思いついたのが、このガイドブック作成です。

手に取った方々に、少しでもお役に立てたら幸いです。これには、最初に、すぐに知ることができたらと、感じたことを載せました。作成にあたっては、多くの方々の協力がありました。誠に、感謝申し上げます。特に、アイデアや惜しみない援助をしてくださったとよみ福祉会管理者森田恵美子様には、たいへんお世話になりました。誠にありがとうございます。

ママサポ結は、豊見城市の様々な支援機関とともに、子育てが、楽しく、喜びとなりますように、皆様にエールを送ります。



ジャガイモの種植え



勉強会

表紙 宜保美友合さん 小2の作品

はったつしょうがい 発達障害の りかい 理解のために

発達障害者支援法は、発達障害のある人が、生まれてから年をとるまで、それぞれのライフステージ(年齢)にあった適切な支援を受けられる体制を整えることや、この障害が広く理解されることを目指しています。

発達障害の原因はまだよくわかっていませんが、脳機能の障害として考えられています。

小さい頃からその症状が現れるため、早い時期から周囲の理解を得て、適切な支援や環境の調整を行うことが大切です。

このパンフレットでは、発達障害者支援法で支援の対象としている障害を中心に説明します。



- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、こだわり

それぞれの障害の特性

知的な遅れを伴うこともある

自閉症

広汎性発達障害 (PDD)

アスペルガー症候群

(自閉スペクトラム症: ASD*)

注意欠陥・多動性障害 (ADHD)

- 不注意(集中できない)
- 多動・多弁(じっとしてられない)
- 衝動的に行動する(考えるより先に動く)

(注意欠如・多動症: ADHD*)

学習障害 (LD)

- 読む、書く、計算する等の能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

(限局性学習症: SLD*)

- 基本的に、言葉の発達の遅れはない
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、興味・関心のかたより
- 不器用(言語発達に比べて)

※このほか、トゥレット症候群や吃音(症)、発達性協調運動障害

(不器用さ)なども発達障害に含まれます

※発達障害の人には、感覚の過敏や鈍麻が見られることもあります

*はDSM-5の診断名

はったつしょうがい 発達障害ってなんだろう？

発達障害者支援法では、発達障害を「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能障害であってその症状が通常低年齢において発現するもの」と定義し、支援の対象としています。また、子どもにも大人にもこれらの特徴をもつ人がいます。

各障害について、よくみられる特徴の例をあげて説明します。なお、同じような特徴がみとめられたとしても、必ずしも発達障害と断定されるものではありません。

*は DSM-5 の診断名

自閉症、アスペルガー症候群(自閉スペクトラム症:ASD*)

コミュニケーションの場面で、言葉や視線、表情、身振りなどを用いて相互的にやりとりをしたり、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを読み取ったりすることが苦手です。また、特定のことに強い関心をもっていたり、こだわりが強かったりします。また、感覚の過敏さや鈍感さを持ち合わせている場合もあります。

保育所や幼稚園に入り、一人遊びが多く集団活動が苦手なことや、かんしゃくを起こすことが多いことで気づかれることもあります。成人期になってから日常生活、家庭、職場などで困難を抱え、精神的な不調を伴い支援を必要とすることもあります。



注意欠陥・多動性障害(注意欠如・多動症:ADHD*)

落ち着きがない、待てない(多動性-衝動性)、注意が持続しにくい、作業にミスが多い(不注意)といった特性があります。多動性-衝動性と不注意の両方が認められる場合も、いずれか一方が認められる場合もあります。

多動性-衝動性は、落ち着きがない、座っていても手足をもじもじする、しゃべりすぎる、他人の会話に割り込むなどの行動が見られます。

不注意の症状は、ミスが多い、集中し続けることができない、話しかけられていても聞いていないように見える、やるべきことを最後までやりとげない、課題や作業の段取りが苦手、計画的に物事を進められない、整理整頓が苦手、忘れ物や紛失が多い、気が散りやすい、などがあります。



学習障害(限局性学習症:SLD*)

全般的な知的発達には問題がないのに、読む、書く、計算するなど特定の学習のみに困難が認められる状態をいいます。

学習障害は、気づかれにくい障害でもあります。子どもにある困難さを正確に把握し、決して子どもの怠慢さのせいにししないで、適切な支援の方法について情報を共有することが大事です。



その他の発達障害

その他の発達障害として、トゥレット症候群や吃音(症)、発達性協調運動障害などがあります。トゥレット症候群は、さまざまな運動チックと1つ以上の音声チックが1年以上にわたり続く重症チック障害です。チックとは、思わず起こってしまう素早い身体の動きや発声のことをさします。吃音(症)は、滑らかに話すことができないという状態をいいます。音をくりかえしたり、音が伸びたり、なかなか話し出せないといった、さまざまな症状があります。

発達性協調運動障害は、目と手、手と足など2つ以上の動きを組み合わせた運動が苦手だったり、ひとつひとつの動作がぎこちなかったりします。自転車に乗るなどの体を使った活動に苦手がみられたり、くつひもをうまく結べないなど、手先をつかった動作がとて不器用な場合があります。



同じ障害名でも特性の現れ方が違ったり、いくつかの発達障害を併せ持ったりすることもあります。

発達障害は一見すると分かりにくいので、周囲がご本人の困りに気づいたり、理解したりすることが難しいこともあります。

大事なことは、その人がどんなことができ、何が苦手なのか、どんな魅力があるのかといった「その人」に目を向けることです。そして、その人その人に合った支援があれば、だれもが自分らしく、生きていけるのです。

はったつしょうがい そうだんまどぐち 発達障害の相談窓口

はったつしょうがい かた かぞく せいかつじょう こま かん
発達障害のある方やご家族が生活上の困りを感じたとき、ご本人やご家族のみで抱え込むのでは
なく、必要な支援機関に相談することが大切です。

す し く ちようそん お住まいの市区町村

し く ちようそん ちいき せいかつ はったつしょうがい かた かぞく そうだん おう ひつよう じょうほうていきょう
市区町村は、地域で生活する発達障害のある方やそのご家族からの相談に応じ、必要な情報提供
等を行っています。まずは、お住まいの市区町村の障害福祉に関する窓口や、身近な支援者
(乳幼児期であれば保健師、学齢期であれば学校や教育委員会など)にご相談ください。

ぜんこくじちたいまっぷげんさく
[全国自治体マップ検索]

https://www.j-lis.go.jp/spd/map-search/cms_1069.html

はったつしょうがいしやしえんせんたー 発達障害者支援センター

はったつしょうがいじしやしえんせんたー
発達障害児(者)への支援を総合的に行うことを目的とした専門機関です。以下の一覧から、お住まい
の地域の発達障害者支援センターを探ることができます。

はったつしょうがいしやしえんせんたーいちらん
[発達障害者支援センター一覧]

<http://www.rehab.go.jp/ddis/action/center/>



はったつしょうがい じょうほうさいと 発達障害の情報サイト

はったつしょうがいなびぽーたると 発達障害ナビポータル

くに ていきょう はったつしょうがい とつが ぽーたるとさいと はったつしょうがい かんするしんらい じょうほう そうごうてき
国が提供する発達障害に特化したポータルサイトです。発達障害に関する信頼のおける情報を総合的
に提供しています。

はったつしょうがいなびぽーたると
[発達障害ナビポータル] <https://hattatsu.go.jp/>



はったつしょうがいじょうほうしえんせんたー 発達障害情報・支援センター

はったつしょうがい ほんにん かぞく かた はったつしょうがい し かた はったつしょうがい しえんしや む はったつしょうがい かん
発達障害のご本人、ご家族の方、発達障害を知りたい方、発達障害の支援者に向けて、発達障害に関
する信頼のおける情報をわかりやすく提供しています。

はったつしょうがいじょうほうしえんせんたー
[発達障害情報・支援センター] <http://www.rehab.go.jp/ddis/>



はったつしょうがいきょういくすいしんせんたー 発達障害教育推進センター

はったつしょうがい こ きょういく すいしん じゅうじつ む きょういん ほごしや かんけいしや しえん
発達障害のある子どもの教育の推進・充実に向けて、教員や保護者をはじめとする関係者への支援を
図り、さらに広く国民の理解を得るために、ウェブサイト等による情報提供や理解啓発、調査研究活動
を行っています。

はったつしょうがいきょういくすいしんせんたー
[発達障害教育推進センター] <http://cpedd.nise.go.jp/>



01. じっとしてられない子

授業中や静かにしないといけないときに集中できない子がいます。性格やしつけを

【仮説 A】

周りの様子が気になる



隣の生徒の動きや黒板横の掲示物が気になっているかも。

【実践 A】



掲示物を減らしたり、席順を工夫してみよう。

【仮説 B】

身体のどこかを無意識に動かしてしまう



身体を動かさないと、集中したり、気持ちを落ち着けられないかも。

【実践 B】



プリントを配ってもらうなど身体を動かしてもいい時間を作る。周りに迷惑をかけていない場合には注意しない。

悪気はないかも

疑う前に、なぜそのような行動をとるのか推理してみましょう。

【仮説 C】 今すべきことが わからない



言葉での指示だけでは、すべきことが理解できないかも。

【実践 C】



文字や絵で指示したり、この先すべきことの見通しを持たせてみよう。

【仮説 D】 興味を優先させている 他

仮説 A ↓ 実践 A ↓ 仮説 B ↓
実践 B ↓ … の繰り返しだが
大事なんだよ



コラム 2

聞く力を 育てる声かけ



発達が気になる子どもたちは、マイナスの行動が目立つため、否定的な注目・言葉を浴びやすくなります。否定的な声かけは、怒りや不安のスイッチをオンにし、暴言や離席などの行動につながります。困っているのは子どもです。まずは、じっくりと子どもの行動を観察し、なぜじっとできないのか、子どもの視点に立って考え、どうしたらいいのかを肯定的に伝えてみて下さい。肯定的な声かけは、子どもたちの聞く力を育てることにつながるはずです。(NPO法人わくわくの会)

02. 学習の遅れが気になる子

いくら教えても身につかない子や、教科によって得意・不得意が極端に違いすぎて、

【仮説 A】

読み書きが苦手かも



見え方が独特で、似た字を区別したり、文章を区切るのが苦手かも。

【実践 A】

リーディングトラッカー使用例



マス目の入ったノートやリーディングトラッカーを活用してみよう。

【仮説 B】

環境に左右されているかも



窓や蛍光灯の光がまぶしかったり、がやがやした教室の雑音に反応しているかも。

【実践 B】



サングラスやイヤーマフを活用してみよう。

特別な工夫があると 実力が発揮できるかも

まじめにやっていないように見える子がいます。もしかしたら学習の工夫が必要な子かも。

【仮説 C】
「わからない」が
積み重なっている



問題を間違えたり、注意される経験が多くなりすぎて、勉強に苦手意識があるかも。

【実践 C】



「わからない」と表現できる方法を考える。「できた」という体験の積み重ねを大事に。

【仮説 D】聴力はどうか？
【仮説 E】生活リズムは？
【仮説 F】家で話されている
言語(保護者の国籍)は？
【仮説 G】…



コラム 3

見落とされやすい 気になる子



発達が気になる子のなかには知的障害を伴わない、あるいは知能の高いタイプがいます。そのため周囲からの期待が高まり、その期待に応えきれないと努力不足と誤解されて、自信をなくしてしまう場合があります。また、まわりとの違いに違和感をもちながらも、必死に合わせようと努力する「過剰適応」になってしまう子も少なくありません。過剰適応は、ゆくゆくは適応障害につながり、問題が大きくなることがありますので、見落とさないように気をつけましょう。

03. 宿題をやってこない子

なんども宿題を忘れてしまう子がいます。もしかしたらその子は、なまけ心はないのに

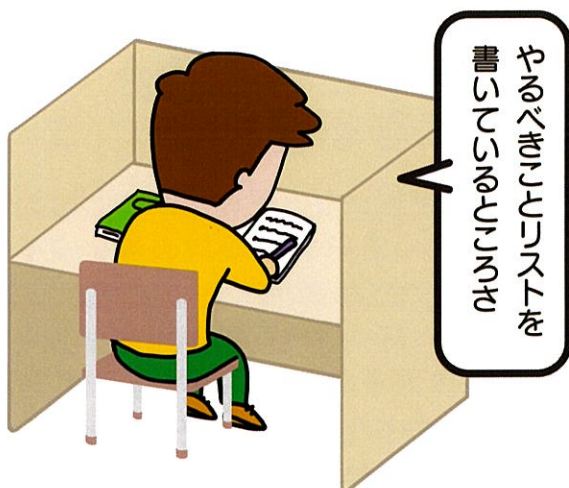
【仮説 A】

計画を立てるのが
苦手かも



逆算して考えるのが苦手で、気がつくとき夜になっているかも。

【実践 A】



家庭と協力し、家に帰ってからやるべきことのリストを作ってみる。本人と一緒にリストを作ることや「シールを貼る」など、できたときにちょっとした褒美を用意することがコツ。

【仮説 B】

大事なところを
聞き逃がす



丁寧に長い説明に、かえってどこが大事な箇所かわからなくなっているかも。

【実践 B】



短い言葉で、端的に伝える。大事な箇所に目印をつける。

→ 怠けではないかも

つい忘れてしまっているのかもしれません。

【仮説 C】

難易度がミスマッチ



宿題の難易度が本人に合っていないかも。

【実践 C】



家庭と連携し、少し頑張ればやれそうな内容・量にしてみよう。

【仮説 D】

お手伝いに追われている子もいるかも 他



コラム 4

保護者との連携について

気になる子が家庭でみせる姿と学校でみせる姿は違うことが多く、保護者と教師で問題意識が異なることがあります。保護者との連携においては、まず、保護者のお話を聞くことから始めましょう。その際、「共感的に聴くこと」「保護者を労うこと」が大切です。家庭で実践している配慮なども伺えると、学校での支援のヒントになるかもしれません。保護者から学ぶ姿勢を大事にしたいものです。学校での様子をお伝えする際は、「子どもの得意なところを伝えること」「苦手な部分について共有する際は、学校で実施している配慮も併せて伝えること」の2点を大事にしてください。学校で実践している配慮を伝えることで、家庭での関わり方のヒントを得られます。保護者と教師が、お互いの想いや実践を共有することで、子どもの理解が積み上がり、子どもが実力を発揮できる環境が整ってきます。

04. クラスでの居心地 が悪そう

クラスの友だちとのやりとりが苦手だったり、ふんいきを読めずにトラブルになる子

【仮説 A】

みんなと仲良くしようとして
頑張りすぎている



クラス全員と仲良くしようとして気を使いすぎて疲れているかも。

【実践 A】



1人での時間も保証してあげよう。

【仮説 B】

興味や関心が違う



興味のあることが同年代の子と違うかも。

【実践 B】



年齢や常識にとらわれず、まずはその子の興味あるものに、大人が関心を向けてみよう。

→ 通訳者がいると心強いかも

がいます。独特の不器用がある場合は、コミュニケーションの工夫が必要です。

【仮説 C】 言葉の裏を 読み取れない



本音と建前や、冗談と本気の区別がつかない。

【実践 C】



大人がおたがいの気持ちの通訳者になってみよう。

【仮説 D】 一方的に話してしまっ ているかも 他



コラム 5

発達段階を理解した学級経営



小学校低学年の学級経営を行う上での礎は、担任と児童との信頼関係を構築することです。低学年の児童は、担任の先生が大好きです。そして先生の一挙一動に注目しています。「〇さん、よくできたね」「〇さん、この姿勢すばらしい」等、名前を呼び、認め、望ましい行動をしている子供が褒められることが、多い学級では、自分もあんな風に褒めてほしいという思いが育ち、望ましい行動形成に繋がります。(沖縄県教育委員会)

05. 見えてきた本人理解を新サ 次へつなごう

「新サポートノートえいぶる」は、発達が気になる子の発達歴や支援記録などを一冊にまとめることができます。相談や支援のさいに活用することで説明の負担を軽くし、関係者にも十分に理解してもらえらるためのツールです。また当事者支援の仮説・実践・見直しを実践するツールとしても使えます。

市町村の窓口
(障害福祉、母子保健、
子育て支援、教育委
員会)で受け取れ
ます

県のサイトから
ダウンロード
できます

テンプレート
いろいろで、
記入見本もあり

新サポートノートえいぶる



(シート5: こんな支援が助かりますシート)

支援の工夫など、つなげたい情報

☆こんな支援が助かります！

「こんな紙、こうしたら上手くいくかも」という支援のアイデアを書き足してみよう！

困ったり不快に感じる場面・とりやすい行動

考えられる理由

↓

こんな支援が助かります！

(記入日: 年 月 日)

困ったり不快に感じる場面・とりやすい行動

考えられる理由

集中すると音があまり耳に入らず、視野が狭くなります

↓

こんな支援が助かります！

(記入日: 年 月 日)

出典: 沖縄県庁 一人ひとりの未来をつくる生活支援プラン Mapより (文章の表現を変更しております)

沖縄県 障害福祉課 えいぶる



コラム 6

えいぶる活用で成績アップ

A君は高校入学時で小学校三年生レベルの学力でした。さまざまな工夫で高校卒業時には標準レベルの学力を身につけることができ、大学にも合格することができました。でも両親は学内ルールや提出物の期限が守れるのか、とても不安でした。そこでかねてからお世話になっている福祉事業所に相談し「えいぶる」での合理的配慮の申請の仕方を教わり、大学に申請。A君の高校の担任が推薦書に合理的配慮の要請文を入れてくれました。すると入学式の日から大学の教師たちと職員らでチームを作って、A君を支援。そのおかげでA君は好成績で無事卒業。希望する職種に就職することができました。(沖縄県在住の当事者家族)



ポートノートえいぶるで



このシートで
仮説↓実践↓見直し
を整理しよう

記入は
手書きでもOK

短く端的に
書いてもらうと
わかりやすい

(シート5：こんな支援が助かります！シート)

支援の工夫など、つなげたい情報

☆こんな支援が助かります！

「こんな時、こうしたら上手くいくかも」という支援の方法を書き足してみましょう！

困ったり不快に感じる場面・とりやすい行動

急な予定変更

考えられる理由

口頭指示だけでは忘れてしまう。
急な予定変更は驚いてしまう。

記入例

ここに
仮説が入るよ

ここに
実践を入れよう

こんな支援が助かります！

課題などは事前予告をお願いします。
口頭だけではなく文書や絵、図、写真資料があると伝わり
やすいので助かります。

情報の差が支援の差です

上のシートはA君が申請したときの記入例です。他にも支援メモを書いて提出しました。

メモの内容の一部

- ①レポート、宿題等、重要な連絡事項を书面化し、メールで保護者と共有してください。
- ②レポート作成や提出物等の声かけと提出前切前に再確認の連絡をください。
- ③スケジュール確認と行事や講義の準備など優先順位決め、補習・補講案内はメール通知してください。
- ④具体的な指示がないと動けない場合があるので数字などで明快に順番などの指示をください。などなど…。



情報提供が正確なほど、よりしっかりとした支援が可能になります

あとがき

子供のやる気は、 関わる人が育てる。

最後まで読んでいただきありがとうございます。「やってみよう」と思われた方へお願いです。取り組むその前に、関わるお子さんの顔を思い浮かべ、良いところを探してください。些細なことでもかまいません。具体的には「よく怒るけどやさしい」「時間はかかるが字を丁寧に書く」等です。人は得意な所や良い所を認め、褒められると、やってみようという気持ちになります。その上で、仮説をたてて実際にお子さんと互いに気持ちを伝え合いながら、やりとりを続けていくことが大切です。子供が「できない」や「やらない」には、理由があります。「理解する」ことから始まる支援、支援する側の振り返りも忘れずに。できるところから始めてみてください。(沖縄県教育委員会)

